

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 2月 18日

公表:令和 4年 3月 15日

事業所名 さんきつずやしま

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		完全バリアフリーの構造になっています。また、視覚指示が伝わりやすいようにシンプルな室内空間になっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		毎日の清掃で清潔を心がけています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1回の評価と日々のやり取りの中で意見をいただいています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公表しています。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	支援については巡回指導を受けています。	第三者評価は実施できていません。今後の課題としていきます。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部実施の研修及び内部での研修を行っています。	他施設への見学研修も行っています。コロナの影響で研修の機会が減っていて残念です。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		長野市のアセスメントを使用しています。相談員さんや関係機関と情報を共有しています。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用児の特性や成長の段階に合わせて立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		繰り返しの活動も設定しています。	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日実施しています。	
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	翌営業日や毎週の職員会議で振り返りを行っています。	
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日実施しています。	
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		チームで行っています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管若しくは担当支援員が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		ケースによって保健センターの保健師さんと連携しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○		相談員さん・コーディネーターさんを中心に関係機関で連携しています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		ご家庭を中心して連絡体制をとっています。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			コロナの影響で厳しい状況ですが、学校さんに関係者会議や体験などの機会を持ってもらっています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的に連絡をしたり巡回指導を受けたりしています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		今年度1度ですが幼稚園のお子さん達と交流の機会を持ちました。	コロナウイルスの影響で難しい状況が続いています。今後の目標にしていきたいです。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		研修・勉強会参加の案内や、参考資料の配布を行っています。	さんきつず主催の研修実施を目標にしていきたいです。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に説明をさせていただきます。	定期的な説明は実施しておりません。ご不明な点は何なりとご相談ください。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			地域交流についてはコロナウイルスの影響で難しい状況が続いています。今後の目標にしていきたいです。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		適宜お声がけさせていただき、面談日を設けております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			保護者会はありません。交流に際して隣接する三井ホールをご使用いただけます。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動予定や活動の様子をお配りしています。	会報は現在ありません。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		今後も徹底していきます。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			地域に根差した運営を心がけていきます。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			定期的な説明は実施していません。玄関にありますファイルにマニュアル関係についても綴じてあります。ご覧ください。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に2回以上実施しています。		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○				
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○			現在、医師の指示が必要なお子さんはいません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○				
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○				
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○			突発的な危険行為等で制止することがあります。職員間でしっかりと話し合い、事前の説明と了解を支援計画を用いて確実に得ていきます。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公)

公表:令和 4年 3月 15日

アンケート期間:令和 3年 1月 24日～令和 4年 2月 10日

事業所名 **さんきつずやしま**

保護者等数(児童数) 9

回収数 7

割合 78 %

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	2	OT等の専門職の配置があると良い。	事業の規模として難しいです。関係機関と連携をしていきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	0	0	0		
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7	0	0	0		日頃の情報共有や面談などご協力ありがとうございます。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	1		左記の3つの項目について計画し支援しています。ガイドラインはさんきつず玄関に設置してあります。インターネット上でもご覧になれます。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	7	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7	0	0	0		今後もお子さんに合わせて様々な活動を計画していきます。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	1	2	3	是非希望します。	今年度は1度ですが、幼稚園のお子さん達を招待して一緒に劇を見る活動を行いました。今後交流の機会を増やしていきたいです。
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	6	0	0	1		面談で説明をさせていただいています。ありがとうございます。ガイドラインはさんきつず玄関に設置してあります。インターネット上でもご覧になれます。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	3	1	1	2	講座やワークによる研修を希望します。	さんきつず主体のプログラムは実施できていません。外部で研修会などがあればお知らせします。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	7	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	0	0	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	4	2		現在保護者会はありません。意見交換等の交流の機会を作っていきたいです。

す	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	5	1	0	1		相談は担当支援員が中心に受けています。申し入れなどは随時受けます。迅速に対応できるよう努めます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	1		連絡ノート中心にやり取りをしています。日々ありがとうございます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1	0	1		現在会報はありません。活動の様子は連絡ノートに写真付きでお伝えしていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	6	0	0	1		今後も徹底していきます。お気付きの点をご相談ください。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	6	0	0	1		マニュアルはさんきつず玄関に設置しています。ご自由にご覧ください。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	5	1	0	1		年に2回以上行っています。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	1	友だちや先生に会えるのを楽しみに通えています。	ありがとうございます。今後も楽しい活動を通して成長を促していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	1		ありがとうございます。今後も努力します。

この集計結果は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていた
 だき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 4年 2月 16日

公表:令和 4年 3月 15日

事業所名 **さんきつずやしま**

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		児童発達と時間が重なる時は地域の公民館を借りています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		完全なバリアフリー構造になっています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日振り返りをして支援にあたっています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			年に1回の評価と日々のやり取りの中で意見をいただいています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			ホームページにて公表しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		巡回指導を受けていますが、R3年度はコロナウイルスの影響もあり実施できていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		外部実施の研修及び内部での研修を行っています。	コロナウイルスの影響で外部見学研修が不十分で残念です。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		関係機関とも連携しています。	日々のやり取りに加えて面談で時間をいただいています。ご協力ありがとうございます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			長野市のアセスメントを使用しています。相談員さんや関係機関と情報を共有しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		利用児の特性や成長の段階に合わせて立案しています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		活動での子供の様子を見ながら見直しをしています。	繰り返しの活動も設定しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		長期休暇には平日に出来ない活動を組んでいます。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日実施しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		毎日実施しています。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		チームで行っています。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		活動予定に組み込んでいます。	地域交流が不足しており、今後の課題です。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管若しくは担当支援員が参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			親御さんに間に入らせていただいている場合もあります。ご協力ありがとうございます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			該当児童がいません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		必要に応じて訪問や関係者会議を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している			該当児がいません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		定期的に相談し助言を受けています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		見学研修をさせていただきました。交流は今後の目標としていきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		定期的に参加し情報の共有や助言を受けています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	研修・勉強会参加の案内や、参考資料の配布を行っています。	さんきつず主催の研修実施を目標にしていきたいです。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始時に説明をさせていただきます。	定期的な説明は実施しておりません。ご不明な点は何なりとご相談ください。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		適宜お声がけさせていただく他、面談日を設けております。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在保護者会はありません。交流に際して隣接する三帰寮ホールをご使用いただけます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		職員間で共有する他、必要に応じて第三者委員の方に連絡をしています。	お気づきの点は何なりとお伝えください。また、郵便受けを意見箱としてお使いください。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○	活動予定や活動の様子をお配りしています。	会報は現在ありません。
	35	個人情報に十分注意している	○		今後も徹底していきます。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域に根差した運営を心がけていきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			定期的な説明は実施していません。玄関にありますファイルにマニュアル関係についても綴じてあります。ご覧ください。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年2回以上実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			該当する児童がいません。	職員間でしっかりと話し合い、事前の説明と了解を支援計画を用いて確実に得ていきます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			該当する児童がいません。	対応の必要があるお子さんがいらした時には医師の指示に基づいて対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表: 令和 4年 3月 15日

アンケート期間: 令和 4年 1月 24日～令和4年 2月 10日

事業所名 さんきつずやしま

保護者等数(児童数) 10

回収数 6

割合 60%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	0	体育館・グラウンドと十分確保されていると思う。	児童発達と時間が重なる時は地域の公民館も借りています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	0	0	0		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6	0	0	0		
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	6	0	0	0	現状からステップアップ出来るように課題を設定している。	日頃の情報共有や面談等ご協力ありがとうございます。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	6	0	0	0	要望を具体化して日々の活動に取り入れてくれている。	今後もお子さんに合わせて様々な活動を計画していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	1	3		交流の機会を持てるよう努力します。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	0	連絡ノートの写真やお知らせから様子や苦手な事が分かる。	日々の連絡・様子の共有ありがとうございます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	6	0	0	0		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	2		現在保護者会はありません。意見交換等の交流の機会をつくってみたいです。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	0	0		
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	1	月々の活動予定やメールでの情報伝達がある。	現在会報はありません。
14 個人情報に十分注意しているか	6	0	0	0			
非常 時等 の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	6	0	0	0		
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	0	0	2		年に2回以上実施しています。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0	毎回楽しく通えている。	ありがとうございます。
	18 事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0		ありがとうございます。今後も努力します。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

